契約

議案第 53 号　庁舎外壁及び防水改修工事請負契約について

市役所の庁舎外壁と防水改修工事を実施

原案可決（全会一致）

市役所庁舎の雨漏りや外壁の剥離など機能の劣化が見られることから、外壁改修工事、防水改修工事、塗装改修工事を実施します。

契約

議案第 54 号　後谷住宅外装・設備改修工事請負契約について

後谷住宅の外装・設備改修工事を実施

原案可決（全会一致）

市営住宅にお住まいの方が安心して居住できるよう「戸田市市営住宅長寿命化計画」に基づき、耐用年数の超過部分や老朽化が著しい箇所の改修を行います。屋上防水や外壁改修などの建築工事、電灯のＬＥＤ化や火災報知設備改修などの電気設備工事、給排水給湯設備改修などの機械設備工事を実施します。



陳情

陳情第８号（令和７年）

「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める意見書

不採択（賛成6人 反対17人）

賛成　政策ＴＯＤＡ　遠藤 英樹　議員

外国籍の方を一律に排除するような考え方は一切持っていない。しかし、国防と安全保障、国民の生命と財産は一旦損なわれれば取り返しがつかない。リスクを最小限に抑えるため、原則、国籍要件を整えることはやむを得ない措置であると考え賛成する。

陳情第１号（令和８年）	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	趣旨採択
陳情第２号（令和８年）	戸田市ヘイトスピーチ防止条例の制定に関する陳情	不採択
陳情第５号（令和８年）	幼稚園に関する行政運営に関する陳情	趣旨採択
陳情第８号（令和８年）	戸田市少年サッカー活動環境の改善に関する陳情書	採択

意見書

議員提出議案として５件を可決、１件を否決し、可決した意見書は国・政府に提出しました。

議員提出議案第 14 号

非核三原則の堅持に関する意見書

否決（賛成4人 反対 20 人）

反対　戸田の会　酒井 いくろう　議員

国民の命と平和を守る真の責任は、いかなる事態にも即応できる現実的な抑止力を追求し、第三の被爆都市を絶対につくらせない決意を行動で示すことである。防衛論議を狭め、抑止の実効性を損ないかねない本意見書に反対する。

- ◇　指定施設における不在者投票の公正性担保と外部立会人設置促進に関する意見書
- ◇　化学物質過敏症に関する対策強化を求める意見書
- ◇　夏休み中の子どもの貧困対策および緊急セーフティネットの強化を求める意見書
- ◇　地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書
- ◇　がんゲノム医療の推進及び患者の治療機会拡大に関する意見書

≪結果≫いずれも可決

委員会の審査から



総務常任委員会

市行財政運営、市有財産管理、消防行政、戸田ボートレース事業

〈令和７年度一般会計決算〉

委員　下水道事業会計に対する負担金の位置付けは。

執行部　下水道は独立会計であることから、一般会計からの繰入には基準があるが、雨水の処理については市として対応すべき事業であることから繰入れを行っている。

委員　喫緊の課題である雨水対策についても、財源の選択肢として活用できるのか。

執行部　雨水対策に限れば、当該負担金が担うものである。

〈庁舎外壁及び防水改修工事請負契約〉

委員　前回の工事の時期と今回の工事の経緯は。

執行部　前回は、平成２４年から２６年にかけて実施した免震工事の中で、外壁等の改修を実施した。一般的に外壁改修工事の周期は約２０年であるが、今回、法定点検において指摘を受けたことから、前倒しで実施するものである。

委員　本来２０年周期のものが、約10年で行う必要に迫られ、今後古くなることを加味すれば、さらなるコストの増加が予見される。このことから、工事を通じて判明した問題は議会にも共有し、根本的な対応につなげていってほしい。



老朽化により、予定より短期間での対応に迫られる庁舎外壁

文教・建設常任委員会

学校運営、教育施設、社会教育活動、建設計画並びに事業、都市計画並びに事業、交通安全、住宅行政

〈令和７年度一般会計決算〉

委員　美女木東地下道の舗装の劣化対策は。

執行部　劣化が進行しやすいことから、昨年度の修繕でアスファルト舗装とコンクリート舗装の特徴を組み合わせた半たわみ舗装を採用するなど、現場状況に応じた工法を選定している。

委員　中央図書館の新規事業の反応及び効果は。

執行部　地元企業や学校との連携が増え、来館者数増につながった。特にイオンモール北戸田でのブックポスト設置、未来屋書店の図書受取サービスの開始は利用者の拡大に寄与した。

委員　学校給食センター費の需用費について、約 4,700 万円の不用額が発生した理由は。

執行部　昨年秋に米の価格が急騰したため、米を十分に確保できるよう 12 月に補正予算を組んだ。その後、予測よりも米の価格が下がり、結果的に執行額が抑えられた。

〈令和８年度一般会計補正予算〉

委員　ＩＣＴを活用した教育・福祉の情報共有促進モデル事業について、学校と障害児支援施設間でどのようなデータを共有するのか。

執行部　これまで保護者経由で得ていた放課後等デイサービスでの様子を施設から直接把握したり、支援施設が持つ専門的な分析データを共有したりすることを想定している。



3月から、予約した図書館の本を書店で受け取れるサービスを開始